

平成28年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

平成29年3月31日現在

1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

(1) 役員等に関すること

ア 理事 (定員7名)

理事長 横山 成保

鎌倉 嵩 青屋 勝 立山 静夫

野口 和行 淵上 澄雄 池田 吉平

イ 監事 (定員2名)

田中 瑞生 大河原 弘子

ウ 評議員 (定員15名)

姉川 淑子 高木 かおる 原田 誠一郎

瓦田 節子 吉村 洋子 大橋 正敏

久味木 フヂ 坂元 和雄 薬丸 良英

徳留 次男 中村 敏郎 馬籠 英男

本村 順吉 横山 久美 馬渡 久統

(2) 社会福祉事業団の運営に関すること

平成28年度理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

ア 第2回理事会議題 (平成28年5月25日開催)

議案第12号 平成27年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告について

議案第13号 平成27年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計決算について
<監査報告>

議案第14号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団ストレスチェック制度実施規程
の制定について

イ 第3回理事会議題 (平成28年11月28日開催)

議案第15号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団理事長の互選について

議案第16号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計補正予算 (第1号) について

議案第17号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制
定について

議案第18号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営要綱
の制定について

議案第19号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則の一部を改正する

規則の制定について

- 議案第 20 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の育児休業等取扱規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 21 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の介護休業等取扱規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 22 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員内部登用試験実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 23 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員の委嘱について
- 議案第 24 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員選任・解任委員会委員の選任について

ウ 第 1 回理事会議題（平成 29 年 2 月 16 日開催）

- 議案第 25 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団次期評議員候補者の推薦について
- 議案第 26 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 27 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団空調及び給湯設備保守点検業務委託の入札について

エ 第 2 回理事会議題（平成 29 年 3 月 23 日開催）

- 議案第 1 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計補正予算(第 2 号)について
- 議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団経営方針及び事業計画について
- 議案第 3 号 平成 29 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計予算について
- 議案第 4 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第 5 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員採用選考規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 6 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 7 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 8 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 9 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団公印規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 10 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 11 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程一部を改正する規程

- の制定について
- 議案第 1 2 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程細則の一部を改正する細則の制定について
 - 議案第 1 3 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団慶弔規程の一部を改正する規程の制定について
 - 議案第 1 4 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団生計困難者に対する相談支援事業実施規程の制定について
 - 議案第 1 5 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団第三者委員の選任について

【評議員会】

ア 第 2 回評議員会議題（平成 2 8 年 5 月 2 5 日開催）

- 議案第 1 2 号 平成 2 7 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告について
- 議案第 1 3 号 平成 2 7 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計決算について
＜監査報告＞
- 議案第 1 4 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団ストレスチェック制度実施規程の制定について

イ 第 3 回評議員会議題（平成 2 8 年 1 1 月 2 8 日開催）

- 議案第 1 5 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 1 6 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制定について
- 議案第 1 7 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営要綱の制定について
- 議案第 1 8 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
- 議案第 1 9 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の育児休業等取扱規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 2 0 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の介護休業等取扱規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 2 2 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員内部登用試験実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 2 1 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員の委嘱について
- 議案第 2 2 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員を選任について

ウ 第 1 回評議員会議題（平成 2 9 年 3 月 2 3 日開催）

- 報告第 1 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 報告第 2 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団空調及び給湯設備保守点検業務委託の入札について
- 議案第 1 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計補正予算(第 2 号)について

- 議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団経営方針及び事業計画について
- 議案第 3 号 平成 29 年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団会計予算について
- 議案第 4 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第 5 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員採用選考規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 6 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 7 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 8 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 9 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団公印規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 10 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 11 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程一部を改正する規程の制定について
- 議案第 12 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第 13 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団慶弔規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 14 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団生計困難者に対する相談支援事業実施規程の制定について
- 議案第 15 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団第三者委員の選任について

【評議員選任・解任委員会】（平成 29 年 2 月 16 日開催）

- 議案第 1 号 社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員の選任について

(3) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営

(ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

イ 第二種社会福祉事業

(ア) 西岳デイサービスセンターの経営

(イ) 庄内デイサービスセンターの経営

(ウ) 横市デイサービスセンターの経営

(エ) 老人短期入所施設白寿園の経営

(オ) 老人短期入所施設庄内の里の経営

(カ) 訪問介護事業（清風園、望峰園）

ウ 公益事業

(ア) ケアプランサービスゆう

(イ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

(1) 事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。

<改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱>

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款細則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の育児休業等取扱規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の介護休業等取扱規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団事務決裁規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団公印規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償に関する規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程細則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団慶弔規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団ストレスチェック制度実施規程」の制定

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営要綱」の制定

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団生計困難者に対する相談支援事業実施規程」の制定

(2) 職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。

(3) 事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。

- (4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月課長会議を行った。
- (5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。
- (6) 職員の定期昇給を行った。
- (7) 職員の定期人事異動を行った。
- (8) 障害者雇用調整金を申請した。
- (9) 資産の総額変更登記を行った。
- (10) 事業団会計監事監査を行った。
- (11) 都城市へ現況報告を提出した。
- (12) 経営協に情報を公開した。
- (13) 役員及び職員等のマイナンバーを収集した。
- (14) 社会福祉法人常陽社会福祉事業団経営計画推進委員会で策定した計画の推進を行った。
- (15) 介護職員処遇改善加算の体制を整え、処遇の改善に努めた。
- (16) 福祉医療機構へ事業報告を提出した。
- (17) 県へ社会福祉法人現況届を提出した。
- (18) 全事協へ現況報告書を提出した。
- (19) 税務署へ損益計算書を提出した。
- (20) 経済センサス活動調査を行った。
- (21) 高齢者・障がい者雇用状況「6・1調査」を提出した。
- (22) 望峰園1年点検を行った。
- (23) 熊本地震災害義援金を行った。
- (24) 都城市盆地祭りに参加した。
- (25) 有事に備えAEDを各事業所に設置した。
- (26) 若者応援企業として宣言申請した。
- (27) 被扶養者資格の再確認調査を行った。
- (28) 職員提案制度を実施した。
- (29) 第3セクター連結対象法人の連結財務書類の提出を行った。
- (30) 全事協九州ブロック会議に出席した。
- (31) ストレスチェックを実施した。
- (32) 介護機器助成金を申請した。
- (33) イクメン・イクボスセミナーに参加した。
- (34) 日本財団へ各事業所で募った募金を行った。
- (35) 事業団職員採用試験（介護職員）を行った。
- (36) 事業団職員内部登用試験を行った。
- (37) 職員研修を行った。

- (38) 全職員に対し職員勤務評定を行った。
- (39) 理事長の変更登記申請を行った。
- (40) 定款変更認可申請を行い認可された。
- (41) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。
- (42) 労働局立入調査を受け指摘なく終わった。
- (43) 知事とイクメンパパの家事育児参加事業に参加した。
- (44) 入札談合等関与行為防止法講習会に参加した。
- (45) 社会福祉法人決算実務研修に参加した。
- (46) 日本財団福祉車輛の助成を受けた。
- (47) 定年退職者への事務説明会を行った。
- (48) 評議員選任・解任委員会を開催した。
- (49) 事業団職員選考試験（看護師）を行った。
- (50) 横市デイサービスにおいて地元の介護者を対象に無料で介護教室を行った。
- (51) 清風園及び白寿園周辺の道路を清掃ボランティアによる環境美化を行った。
- (52) 財務諸表等開示システムの試行運用を行った。
- (53) 高校生対象の職業説明会に参加した。
- (54) みやざき安心セーフティネット事業に加入した。
- (55) 辞任された評議員に退職慰労金を支払った。

1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

(2) 健康管理

ア 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・グラウンドゴルフ等を定期的実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。

ウ 入浴・洗濯・寝具等の衛生管理を援助して清潔面に配慮するとともに、玄関・トイレ・食堂の出入り口に手指消毒器を設置して感染症等の発生予防に努めた。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ 処遇計画に基づき、必要に応じて訪問介護事業所等より、適切かつ円滑な居宅サービスが提供されるよう努めた。

ウ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。また、温冷配膳車を新しくして適温での食事の提供に努めた。

(4) 地域社会との交流

ア 清風園においては一人暮らし高齢者に対して食の自立支援事業（配食サービス）を行い、食を通じて在宅高齢者の生活援助に努めた。

イ 地域福祉のセンター的役割を果たすために、地域の幼稚園、小・中学校及び支援学校の生徒の皆さんと交流した。

ウ 西中、西高校、看護学校等ボランティアの積極的な受け入れを実施した。

(5) 職員の資質向上

- ア 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。
- イ 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。
- ウ 一般型特定施設移行に備え、県内の2つの先進施設で研修を行い、職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

- ア 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。
- イ 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

- ア 入居者が要介護状態にあっても、安心して生活できるよう1階居室10室(和室)を段差をなくしたフローリングに改修し、居室および設備等の環境整備に努めた。
- イ 居室清掃をはじめ、園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

2 事業実施状況

平成28年

- 4月 4日 屋内清掃(毎月2回)
特攻碑・墓地清掃(毎月)
買物(毎月2回)
- 5日 内科嘱託医回診(毎週火曜日)
(県南)施設長会議
書道クラブ(毎月)
- 6日 第40回都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭参列
- 7日 屋外清掃(毎月2回)
- 8日 (県南)施設長会議(小林)
- 11日 散髪(毎月)
リハ体操クラブ(毎月)
- 12日 事業所会議(毎月第2火曜日)
検便(毎月)
生花クラブ(毎月)
- 13日 グランドゴルフクラブ(毎月)
- 14日 誕生会(毎月第2火曜日)
- 15日 (県南)相談員研修(都城)
機能回復訓練(毎月第3金曜日)
- 19日 課長会議(毎月第3火曜日)
- 21日 喫茶コーナー(毎月第3木曜日)
- 22日 入所者との話し合い(毎月第4金曜日)
- 25日 栄養管理委員会(毎月)
カレンダー作成(毎月)
入所者健康診断(年2回)
- 26日 経営者会議

- 27日 安全感染委員会
- 28日 音楽クラブ(毎月)
- 5月19日 (県南)養護老人ホーム利用者交流大会(小林市)
- 24日 (県)社会福祉施設等新任職員研修
- 25日 事業団理事・評議員会
- 6月 2日 (県)コミュニケーションスキル基礎研修
- 3日 (県南)栄養士研修(えびの)
- 10日 (県南)調理員研修(都城市)
年見ボランティアサロン訪問
- 11日 高看生ボランティア(毎月第2土曜日)
- 16日 郊外レクレーション(アヤメ見学)
- 18日 西高生ボランティア(毎月第3土曜日)
- 29日 (県)コミュニケーションスキル実践研修
- 7月 4日 七夕飾り付け
- 7日 参議院議員不在者投票
(県)キャリアパス対応生涯研修
- 8日 (県南)事務員研修(高原)
- 28日 納涼夏祭り
- 8月 4日 (県)OJTスキル基礎研修
- 5日 西中学生ボランティア
- 10日 お盆法要・法話(攝護寺)
- 19日 (県南)施設長・相談員合同研修(えびの市)
- 22日 (九社連)養護部会セミナー
- 25日 (県)キャリアパス対応生涯研修(中堅)
施設内研修(防災について)
- 9月 5日 (県)職場研修企画者養成研修
- 7日 県指導監査
- 9日 総合防災避難訓練
- 15日 敬老祭(一日園長)
- 16日 きりしま支援学校生との交流(中等部)
(県)感染症研修
- 10月 6日 (県南)利用者グランドゴルフ交流大会(山田町)
- 13日 清風園運動会
(県南)支援員研修(町)
- 27日 (県南)先進地視察研修(2日間)
- 29日 事業団全体研修
- 11月 1日 他施設視察研修(佐土原;望洋園)
- 10日 郊外レクレーション(えびの)
(県南)看護師研修(三股)
- 11日 きりしま支援学生体験実習(中等部)24日まで
- 29日 (県)施設管理者研修
- 12月 6日 きりしま支援学校との餅つき交流
- 8日 忘年会・誕生会
- 13日 (県)キャリアパス対応生涯研修(管理)
- 15日 施設内研修(感染症)

- 20日 相愛保育園との交流
- 平成29年
- 1月 5日 初詣(母智丘神社)
- 6日 (県南)施設長・相談員研修(都城市)
- 12日 新年会・誕生会
- 15日 1階和室改修工事 (2月15日まで)
- 26日 選択食(昼食)
- 2月 3日 節分(豆まき)
- 14日 他施設視察研修(北郷;清風園)
- 18日 介護教室
- 23日 (九社連)施設長研修
- 3月16日 ふれあいレストラン(寿司)
- 17日 彼岸法要・法話(願心寺)

3 職員の状況

施設長	嘱託医	副施設長兼相談員	相談員	主任支援員	サービス提供責任者
1(0)	2(2)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)
支援員兼訪問介護員	看護職員	栄養士	調理員	事務職	計
20(15)	3(2)	1(0)	7(3)	2(1)	40(25)

()内は第3号職員～第6号職員・嘱託契約数を再掲

4 月別入居者入退居の状況

平成29. 3. 31現在

	入 居			退 居			月初現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
28年 4月	0	1	1	0	0	0	10	57	67
5月	2	2	4	0	1	1	12	58	70
6月	0	0	0	0	1	1	12	57	69
7月	0	1	1	0	0	0	12	58	70
8月	0	0	0	0	0	0	12	58	70
9月	0	0	0	0	0	0	12	58	70
10月	0	1	1	0	2	2	12	57	69
11月	0	2	2	0	1	1	12	58	70
12月	0	1	1	0	1	1	12	58	70
29年 1月	0	1	1	0	1	1	12	58	70
2月	0	1	1	0	1	1	12	58	70
3月	0	2	2	1	0	1	11	59	70
合計	2	12	14	1	8	9	141	694	835

*退居者の状況

退居後の居所	家 庭	0
	病 院	4
	養護老人ホーム	0
	老人保健施設	0
	特別養護老人ホーム	1
	介護付有料老人ホーム	0
	死 亡	4
合 計	9	

5 年齢階層別調

平成29. 3. 31現在

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性	2	2	1	3	1	1	1	0	11	79歳10月
女 性	2	4	11	11	14	12	4	1	59	84歳10月
合 計	4	6	12	14	15	13	5	1	70	84歳1月

6 在居期間

平成29. 3. 31現在

期 間	男	女	計
1年未満	2	10	12
1～ 5年	4	26	30
5～10年	4	14	18
10年以上	1	9	10
合 計	11	59	70

7 要介護度の状況

平成29. 3. 31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	5	34	39
要介護1	0	3	3
要介護2	1	10	11
要介護3	1	8	9
要介護4	4	4	8
要介護5	0	0	0
合 計	11	59	70

8 食の自立支援事業

	利用者数	配食数
28年 4月	18	300
5月	18	321
6月	19	259
7月	16	254
8月	15	248
9月	14	225
10月	14	218
11月	14	247
12月	17	237
29年 1月	17	249
2月	14	232
3月	14	246
合計	190	3,036

* 食事の調理が困難な高齢者に対して、事前計画に基づいて定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施する。

養護老人ホーム望峰園の概況

1 事業概要

入居者の自主性を尊重しながら、生きがいを持って安心して生活できるように、処遇の充実及び施設や環境の改善・整備を基本方針として、支援を行い介護ニーズへの対応の充実を図る事を目的として、次の事業を実施した。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者相互の思いやりのある人間関係のもとに、楽しい充実した集団生活を送れるよう相談・支援に努めた。

イ 入居者のニーズや適性を把握しそれぞれに応じたクラブ、行事等への参加を促し相互の融和を図りながら生きがいづくりに努めた。

(2) 健康管理

ア 毎日のラジオ体操、棒体操のほか、園庭散歩、グラウンドゴルフ、レクリエーション等を実施して、健康の保持増進に努めた。

イ 嘱託医との連携により、疾病の早期発見、早期治療に当たると共に、定期健康診断のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

ウ 身辺整理の励行及び、衛生管理を援助して感染症や食中毒予防の周知を行い、発生蔓延対策に努めた。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況、社会環境を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し、職種間の共通理解の下に適切な介護・援助を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対して、職種間の緊密な連携体制を整え、適切かつ円滑なサービスの提供に努めた。

ウ 給食は、嗜好と栄養面を考慮しながら、行事食も取り入れバランスのとれた献立とし、さらに外食会等も実施して、食生活面での生きがいと健康の増進に努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事、外食会等を計画し活動的で質の高い生活を提供できるように努めた。

(4) 地域社会との交流

ア 地域の関係団体やボランティアとの交流や作品展への参加により、地域の理解を深められるように努めた。

イ 学生の職場体験の受け入れや、施設周辺の清掃活動をすることで地域に貢献できるように努めた。

(5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため、各種研修会等に参加すると共に職場内研修を実施して、職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

(7) 施設・環境整備

ア 居室内外の定期的な清掃の他、樹木の剪定や害虫駆除によって年間を通じて園庭の美化を図り、毎日の生活が心おだやかに送れるように努めた。

イ 入居者の自発的な除草や清掃作業等によって、園庭の美化が図られた。

2 実施状況

H28

- | | | |
|---|----|-----------------------------|
| 4 | 1 | 職員研修・避難訓練(職員対象) |
| | 3 | 散髪の日(毎月 第1日曜日業者来園) |
| | 5 | 血圧・体重測定(毎月) |
| | 5 | 事業所会議・安全委員会・感染委員会(毎月) |
| | 7 | 誕生会(毎月) |
| | | 預金日(毎週木曜日)出張販売(毎週木曜日) |
| | 8 | 県南ブロック施設長会議(都城市) |
| | 11 | 内科回診(毎週月曜日) |
| | 13 | 職員会議・職員研修(毎月) |
| | 14 | 屋内外清掃(毎月1回) |
| | 15 | 県南ブロック相談員会議(三股町) |
| | 19 | 課長会(毎月第3火曜日) |
| | 21 | 喫茶(年5回)・生花クラブ(毎月) |
| | 26 | 部長、施設長会議(毎月)・カラオケクラブ(毎月) |
| | 28 | 入居者集会(毎月) |
| 5 | 17 | 入居者健康診断(AM・PM)27日まで |
| | 19 | 県南ブロック利用者交流大会(小林市) |
| | 26 | 避難訓練(毎月) |
| 6 | 3 | 県南ブロック栄養士研修(高城町) |
| | 7 | 誕生会(テーブルバイキング)さのぼり |
| | 10 | 県南ブロック調理員研修(山之口町) |
| | 14 | 建築1年点検 |
| | 15 | 郊外レクリエーション(イオンで食事、買い物)17日まで |
| | 21 | 清風園との交流会(三味線・聖宝会)17名参加 |
| | 22 | 選択食(親子丼、牛丼、鰻丼) |
| | 27 | 床ワックス掛(業者) |
| 7 | 8 | 県南ブロック員事務研修(高原町) |
| | 21 | 夏祭り(納涼の夕べ) |
| | 26 | 喫茶開設(冷やしぜんざい・かるかん・抹茶ゼリー) |
| 8 | 3 | 納骨堂清掃・墓参り 七夕飾り |
| | 9 | お盆法要・法話(信行寺) |
| | 13 | お盆(迎え火) |
| | 15 | お盆(送り火) |
| | 19 | 県南ブロック施設長・相談員合同会議(えびの市) |
| | 26 | ボランティア来園(うちは作成) |
| | 30 | 祝吉地区民児協来園 |

9	3	県指導監査
	6	総合防災訓練・防火設備点検(年2回)
	8	敬老会、誕生会(安久保育園児訪問)
	15	望峰園健康運動会
	16	納骨堂清掃・墓参り
	20	彼岸法要・法話(信行寺)
10	6	県南ブロック グラウンドゴルフ大会(山田町)
	13	県南ブロック支援員研修会(都城市)
	19	選択食(肉うどん・チャンポン・焼きそば)
	25	中郷地区戦没者慰霊祭
	27	県南ブロック施設長先進地視察研修28日まで(長崎県)
	29	法人全体研修
	31	インフルエンザ予防接種(入居者・職員)
11	10	県南ブロック看護師研修会(三股町)
	11	中郷中学生4名来園(福祉体験)
	12	中郷地区文化祭(作品出品)(中郷中体育館)13日まで
	22	入居者健康診断(2回目)29日まで
	22	除草ボランティア(公衆電話協会)
12	1	外食会(はいから亭)
	6	忘年会(すき焼き)、誕生会・踊りボランティア来園
	14	一万城地区民児協来園
	15	大掃除・餅つき
	22	クリスマス喫茶、冬物衣料品支給
	28	正月飾り付け
H29		
1	2	初風呂
	5	誕生会・新年会(和風ステーキ)
	6	県南ブロック施設長・相談員研修(高崎町)
	7	七草粥
	10	初詣(神柱神宮)
2	3	節分(豆まき)
	7	誕生会(ちゃんこ鍋)
	24	養護老人ホーム事務説明会(都城市)
3	3	ひなまつり・誕生会
	7	選択食(いなり寿司・山菜おこわ)
	9	総合防災訓練(南消防署立会い)
	14	彼岸法要・法話(信行寺)
	22	観桜会

3 職員の状況

H 29. 3. 31現在

施設長		相談員兼 ケアマネ	事務員	看護職員	栄養士	調理員	嘱託医
1		1	2 (1)	2 (1)	1	4 (3)	2 (2)
主任 支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	計	夜間介助員			
1	1	12 (11)	27 (18)	2 (委託)	() は臨時職員再掲		

4 月別入所者入退所状況

区分 月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4							11	39	50
5							11	39	50
6				1		1	10	39	49
7							10	39	49
8							10	39	49
9		1	1				10	40	50
10							10	40	50
11		1	1		1	1	10	40	50
12		1	1		1	1	10	40	50
1					1	1	10	39	49
2							10	39	49
3	1		1	1		1	10	39	49
合計	1	3	4	2	3	5			

*参考資料

退所後の状況 (28年度分)

退 所 後 の 状 況	在 宅	
	医療機関	
	他の養護老人ホーム	
	特別養護老人ホーム	1
	老人保健施設	
	死 亡	4
	その他 (グループホーム)	
合 計	5	

5 年齢階層別調

H29. 3. 31現在

年齢 性別	64～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 以上	計	平均 年齢
男	1	4	2	2	1			10	75.6
女		4	7	5	9	8	6	39	90.5
計	1	8	9	7	10	8	6	49	83.6

6 在所期間

H29. 3. 31現在

期 間	男	女	計
1年未満		3	3
1～5年	6	19	25
5～10年	1	11	12
10～20年	3	6	9
20年以上			0
合 計	10	39	49

7 要介護度の状況

H29. 3. 31現在

要介護度	男	女	計
要介護 1			0
要介護 2		2	2
要介護 3		1	1
要介護 4		4	4
要介護 5			0
合 計	0	7	7

特別養護老人ホーム白寿園の概況

1 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

(1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、ボランティア等の協力援助を受け園内外の環境美化に努めた。

(2) 生活指導

- ア 日々の生活を充実させるため、朝の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。
- イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気をつややかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

(3) 健康管理

- ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。
- イ 非常勤理学療法士により週一回の全体での機能回復訓練を行うと共に、機能訓練指導員が生活の中での機能訓練に努めた。
- ウ ノロウィルス・インフルエンザ等の感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。

(4) 入居者の介護

- ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。
- イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。
- ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。
- エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。
- オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

(5) 地域社会との交流

- ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。
- イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。
- ウ 地域交流センターで月 1 回喫茶コーナー（茶話会）を実施し地域の方々との交流を一層深めて行くよう努めた。
- エ 地域主催の介護教室等積極的に協力し、地域福祉の担い手となるように努めた。

(6) 職員の資質の向上

- ア 介護技術向上のため、抱えない介護研修会・介護技術研修会・ユニット関連の研修会参加に積極的に取り組み質の向上に努めた。
- イ 介護福祉士養成実習施設として、高校や専門学校等の研修生を積極的に受け入れた。
- ウ 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。
- エ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。
- オ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

(7) 非常災害対策

- ア 園舎内外の夜間における火災、地震等の災害発生に対応するため、本年度も夜間管理を民間（個人）に委託した。
- イ 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年2回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

2 実施状況

月例	音楽リハ	(第2・4月曜日)
	個別リハ	(毎週水曜日)
	誕生会	(毎月 各ユニット)
	理髪の日	(毎月)
	避難訓練	(毎月)
	課長会議	(毎月 第3火曜日)
	施設長会	(毎月 第4火曜日)
	リーダー会	(毎月)
	事業団介護相談員相談日	(毎月第3木曜日)
	ユニットケア推進委員会	(毎月)
		(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪)
	喫茶コーナー開設	(4月～11月) 毎月ボランティア協力8名程
	新規採用者職場内研修	(5日間) 職員採用時
	事故発生防止委員会	感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会
	褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会	(毎月随時)
	インフルエンザワクチン予防接種	(11月)
	腰椎検査	(3月) 夜勤者検診(7月)

平成28年

4	4	花見	(各ユニットで母智丘へ)
	4	新人研修	(7日まで)
	6	(職場内研修)「ポジショニングについて」	
	8	(演奏会) ボランティア尺八・ギター演奏	
	8	(職場内研修)「おむつについて」	
	12	職員検便	(毎月：調理、隔月：直接処遇職員)
	15	(職場内研修)「抱えない介護」	
	22	(郊外レクリエーション) あやめ見学	

- 5. 10 庄内地区意見交換会
- 10 (実習)都城市コアカレッジ (2名 6/10迄)
- 11 庄内地区社協総会
- 14 都城西高校ボランティア来園 (10名)
- 14 関之尾地区ボランティア来園 (10名)
- 14 (研修) 抱えない介護勉強会 (年8回、講師専任作業療法士)
- 24 (研修) 社会福祉施設等新任職員研修 (宮崎3名)
- 26 焼肉会 (各ユニット)
- 6. 3 (研修) コミュニケーションスキル基礎研修 (宮崎2名)
- 6 (実習) 小林秀峰高校 (1名 6/17日迄)
- 16 さくらユニット郊外レク (4名)
- 18 都城西高校ボランティア (10名)
- 24 (職場内研修) 褥瘡発生0を目指した予防対策
- 26 庄内西区ボランティア来園 (15名)
- 29 (研修) 県南ブロック 栄養・調理士研修会
- 7. 1 さくらユニット園芸リハ (野菜収穫)
- 5 (職場内研修) 健康セミナー (ヤクルト主催)
- 5 行事委員会 (すいか割り)
- 6 外出支援 (1名)
- 9 (研修) 抱えない介護勉強会 (講師専任作業療法士)
- 10 すずらんユニット調理 (かき氷)
- 12 外出支援 (1名)
- 13 (研修) ユニットリーダー管理者研修 (15日迄)
- 14 (研修) 福祉職員キャリアパス新任者研修 (宮崎2名 15日迄)
- 14 庄内東区ボランティア来園 (10名)
- 15 いちょうユニット郊外レク (2名)
- 20 (研修) 防火管理者研修 (21日迄)
- 20 願心寺仏教婦人部コーラスボランティア (17名)
- 22 県立学校教諭初任者研修2名(介護体験)
- 22 (実習) 小林秀峰高校 (3年生 8/4迄)
- 24 南洲神社子供踊り
- 25 そうめん流し (各ユニット)
- 28 県立学校教諭初任者研修4名(介護体験)
- 29 県立学校教諭初任者研修4名(介護体験)
- 8. 2 外出支援 (1名)
- 4 庄内中ボランティア来園 (7名)
- 4 庄内地区まちづくり協議会
- 5 庄内中ボランティア来園 (8名)
- 5 都城農業高校ライフデザイン科体験 (2名)
- 6 盆地祭り参加
- 7 庄内町区ボランティア来園 (10名)
- 8 ストレスチェック実施 (職員69名)
- 10 お盆法要 (願心寺)
- 17 (実習) 都城高校 (2年生 3名 9/9迄)
- 19 (研修) 県南ブロック特養部会合同研修会 (三股町 3名)
- 21 外出支援 (1名)
- 23 (研修) 宮崎ストレスチェック実施者養成研修 (宮崎 1名)
- 24 (施設内研修) 院内感染対策

- 9. 1 (研修) 福祉キャリアパス中堅 (宮崎 2名)
 - 1 そうめん流し (各ユニット)
 - 2 外出支援 (1名)
 - 5 (実習) ユニットリーダー研修 (1名)
 - 6 外出支援 (1名)
 - 8 (実習) 都城コアカレッジ (2年生 1名 10/13迄)
- 1 2 (実習) 南九州大学教育実習 (1名 16日迄)
- 1 3 外出支援 (1名)
- 1 6 (研修) 感染症研修 (宮崎 3名)
- 1 7 白寿園祭
- 2 4 都城西高校ボランティア来園 (4名)
- 2 6 (研修) 県南ブロック特養部会部門別研修Ⅱ「介護支援専門員」(都城市1名)
- 2 9 (研修) 県南ブロック特養部会「介護・看護部門」(えびの市1名 30日迄)
- 2 9 (施設内研修) AED講習 (30日まで)
- 2 9 沖水地区ボランティア協議会視察見学 (26名)
- 1 0. 1 2 庄内地区介護者教室 (14日迄)
- 1 3 外出支援 (1名)
- 1 4 第3回白寿園運動会
- 2 3 菓子野地区千草ボランティア来園 (10名)
- 2 4 (実習) 都城市コアカレッジ (1年生 2名 11/16迄)
- 2 5 県南ブロックミニバレーボール大会 (都城市、5名)
- 2 6 庄内地区一周ゆうゆう駅伝監督会議
- 2 9 (研修) 抱えない介護勉強会 (年8回、講師専任作業療法)
- 2 9 事業団全体研修
- 1 1. 3 外出支援 (2名)
- 9 すずらんユニット外出支援 (4名)
- 9 白寿園OB会
- 1 3 乙房町平田地区ボランティア来園 (12名)
- 1 4 菓子野町宮島地区ボランティア来園 (6名)
- 1 5 (研修) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース6 (4名)
- 1 6 (研修) 養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修会 (都城 3名)
- 1 9 都城西高校ボランティア来園 (5名)
- 2 2 (研修) 認知症介護基礎研修 (宮崎 3名)
- 2 8 (実習) 国立病院看護学生(3名 12/6迄)
- 2 9 紙芝居ボランティア来園
- 1 2. 4 庄内川一周駅伝参加
- 5 (実習) 都城高校1年生 2名 (13日迄)
- 8 (実習) 国立病院看護学生(3名 12/16迄)
- 9 (職場内研修) 冬季の感染症について理解し対策方法や知識の向上
- 1 3 そば打ち (16迄)
- 1 6 (研修) 県南ブロック特養部会生活相談員研修 (都城市 1名)
- 1 7 都城西高校ボランティア来園 (10名)
- 2 0 (研修) みやざき安心セーフティネット事業 基礎編 (宮崎 1名)
- 2 3 クリスマスケーキ作り
- 2 6 門松作り
- 2 8 餅つき (施設内)

平成29年

1. 10 初詣(各ユニット 26日まで)
- 16 庄内地区地域生活会議
- 21 関之尾地区ボランティア来園 (10名)
- 31 (研修) 認知症基礎研修 (宮崎 2名)
2. 1 (研修)宮崎県老人福祉サービス研究大会 (宮崎 4名)
- 4 都城西高校ボランティア来園 (8名)
- 4 (研修) 抱えない介護勉強会 (年8回、講師専任作業療法)
- 6 庄内地区地域生活会議
- 7 (研修) ユニットケアフォローアップ (熊本 3名)
- 7 (実習)都城市コアカレッジ (1年生 2名 3/1迄)
- 16 (職場内研修) 各委員会の1年間の振り返り、虐待時ついて
- 23 (研修) 九社連老人福祉施設協議会研修会 (1名)
- 26 関之尾地区ボランティア来園 (10名)
- 27 (研修) 栄養士研修会 (都城 1名)
- 28 (研修) 高齢者虐待防止研修 (宮崎 2名)
3. 1 介護者教室 (栄養士講師派遣)
- 2 (研修) 生活困窮者自立支援にかかる研修 (小林 1名)
- 5 庄内西区ボランティア来園 (16名)
- 6 (研修) みやざき安心セーフティネット事業 応用編 (宮崎 1名)
- 8 (地域交流) リンゴの木との食事会 (子供5名、親4名参加)
- 13 庄内地区地域・福祉施設意見交換会
- 24 高校生対象の地元企業ガイダンス (2名)

3 職員の状況

H29. 3. 31現在

施設長	副施設長兼相談員	相談員・ケアマネ	事務職	介護課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	2	2	1	47(17)	4	3(3)	2(1)	10(8)	2(2)	75(31)

() は第3号職員～第6号職員・嘱託契約数を再掲

4 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月初現在			在所日数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	2		2		1	1	12	37	49	1484
5	1		1	1	2	3	14	36	50	1535
6	1	1	2		1	1	14	34	48	1459
7		1	1		1	1	15	34	49	1512
8		1	1			0	15	34	49	1535
9			0	1	2	3	15	35	50	1476
10		4	4	1		1	14	33	47	1517
11		2	2		2	2	13	37	50	1489
12			0	1		1	13	37	50	1534
1		2	2		1	1	12	37	49	1532
2		1	1		1	1	12	38	50	1392
3			0	1		1	12	38	50	1522
合計	4	12	16	5	11	16	161	430	591	17987

5 在所期間

H29. 3. 31現在

期間	1年未満	1 ～ 5年	5 ～ 10年	10年以上	平均在所期間
男	2	5	3	1	62.6ヶ月
女	12	19	3	4	37.4ヶ月
計	14	24	6	5	43ヶ月

6 年齢階層別調

H29. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男		1	2	3	3	1	1		最小年齢 74歳1ヶ月
女	1	1	0	5	13	9	6	3	最大年齢 107歳8ヶ月
計	1	2	2	8	16	10	7	3	平均年齢 88歳4ヶ月

7 要介護度状況

H29. 3. 31現在

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
男			2	3	5	4.3
女		1	3	16	19	4.4
計	0	1	5	19	24	4.3

8 短期入所生活介護事業

利用者が要介護状態になった場合に、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の機能の維持並びに、利用者の家族の身体状況及び精神的負担の軽減を図るように努めた。

利用状況 ユニット型短期入所

H28年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	10	8	10	12	10	12	13	11	10	9	11	10	17
延日数	241	210	244	238	219	256	220	186	191	187	161	177	2530

* 参照

前年度延日数	237	243	234	240	242	255	252	227	234	235	213	270	2882
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

利用状況 短期入所生活介護庄内の里

H28年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	25	23	23	25	23	24	29	21	26	25	25	28	50
延日数	562	568	522	527	495	510	473	347	430	449	406	481	5770

* 参照

前年度延日数	519	539	512	542	514	532	549	541	544	545	531	584	6452
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

9 食の自立支援事業

食事の調理が困難な高齢者に対し、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康保持及び自立生活の援助を図りかつ安否確認を行い、在宅高齢者の福祉の増進をはかるように努めた。

利用状況

H28年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	17	17	17	16	16	18	18	16	16	16	16	17	
配食数	260	264	255	255	269	291	288	299	266	267	266	332	3312

* 参照

H27年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	11	13	13	13	13	13	15	15	16	17	16	16	
配食数	207	213	244	244	200	225	260	243	254	262	291	297	2940

西岳デイサービスセンターの概要

1. 事業概要

在宅の虚弱高齢者に入浴および給食等のサービスを提供し、高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上を図るとともに、家族の精神的負担の軽減に寄与するよう以下の点に留意して事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した温度等に留意して快適な入浴が楽しめるような配慮を心がけた。認知症の為入浴や洗髪に拒否のある方へはタイミングや内容を考慮しながら声かけを行い気持ち良く入浴していただき清潔保持に努めた。

(2) 送迎

利用者の心身状態や天候に合わせて車内の座席や車種に配慮し、細やかな声かけを行い安全な乗降に努めた。

(3) 給食

高齢者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れた昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。利用者のアレルギーや心身状態の変化から、食事内容や形態への変更要望が発生した時には、栄養士と協議のうえ利用者の状況変化に対応した。

(4) 情報共有

担当者会議に各スタッフが参加する事により、本人ならびに家族の意向を周知してケアマネージャー等の関係機関との連携に基づいた個別援助計画の作成に努めた。

(5) 機能訓練・社会性の維持援助

利用者の特性に応じたケアプランに基づいた日常動作訓練を実施する事により、身体機能の維持を図った。日常的に個人での外出の機会の少ない高齢者に対して、郊外レクリエーションへ参加していただく事により季節感の維持と社会性の維持援助を図った。

(6) 健康管理

迎え時に自宅で検温を実施して体調不良の早期発見に努め、デイ到着時に再度検温、血圧脈拍測定、体調の聞き取りを実施した。バイタル異常や気分不良、疾患を確認した場合、ご家族やケアマネージャーに連絡し適切な対応を行った。デイ到着後、入浴後、食事時、おやつ時その他必要に応じて水分補給を行った。夏季は経口補水液の提供も行い、熱中症や脱水症予防に努めた。

2. 職員の資質向上

職員に対して介護保険制度等関係施策の動向ならびに個別援助計画作成の周知を図るとともに、各種研修への参加により職員の資質向上に努めた。

3. 地域との連携

地区民生児童委員ならびに地区自治公民館への情報交換に努め、西岳地区の文化祭への作品出展、出演参加により地域への施設機能の開示を進めた。

4. 施設整備

空調機器、無圧缶式温水ヒーター、井水薬剤注入ポンプの更新を行った。

5. 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 28 年度 年間行事計画実施状況

西岳デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会(誕生者へ創作物のプレゼント) 2 職員会議(行事、レク内容協議、意見交換) 4 各種ゲーム	毎 日	下肢筋力低下予防運動 口腔嚥下体操 ラジオ体操・各種体操
	5 個別援助計画作成 6 利用予定カレンダー作成	年間	避難訓練(10月) 嗜好調査(5月)
随 時	自然災害・利用者異変時の対応(全スタッフ) ボランティア受け入れ		
4月	花見(母智丘)・こいのぼり作成・泉会		
5月	茶話会(野点の会)・泉会		
6月	七夕飾り作成・七夕飾りつけ・泉会		
7月	買い物ツアー・塗り絵		
8月	制作活動(風鈴うちわ)・泉会		
9月	敬老会・西岳地区子供会・泉会		
10月	運動会・泉会・制作活動(文化祭出展用)		
11月	西岳地区文化祭出演・紅葉見学(まほろばの里)・泉会		
12月	クリスマス会・忘年会・茶話会・泉会		
1月	茶話会・初詣(神柱宮)・泉会		
2月	豆まき・雛飾り作成・泉会		
3月	茶話会(ひな祭り)・泉会		

庄内デイサービスセンターの概要

1. 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的および精神的負担の軽減に資するよう以下の点に留意して事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

(2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で参加できる内容をスタッフ間で協議のうえ提供した。

(3) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

2. 健康管理

利用者の表情、顔色等を観察し、看護師により血圧、脈拍、体温測定を実施した。利用者の健康状態を把握してサービス提供の基本とした。

3. 地域との交流

施設機能の周知を図るため、地域のボランティアや学校との交流が出来るよう環境を作った。

4. 職員の資質向上

職員を研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の職員合同研修会、毎月の職員会議において課題の検討を行い職員の資質の向上に努めた。

5. 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 28 年度 年間行事実施状況

庄内デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会 2 職員会議 職員研修 3 個別援助計画作成 4 屋内外清掃 5 利用予定カレンダー作成	毎 日	下肢筋力低下予防運動 通所介護計画実行記録 口腔嚥下体操 ケース会議
		年 間	避難訓練 嗜好調査
随 時	身体測定（身長、体重）・喫茶		
4月	健康体操・日替わりレク・創作活動・茶話会		
5月	日替わりレク(頭、体を使ったゲーム)・地域探訪(アヤマ)		
6月	夏野菜版画・日替わりレク(健康教室・棒体操等)・創作活動(七夕)		
7月	創作活動(七夕)・日替わりレク・喫茶・熱中症予防健康教室		
8月	創作活動(ちぎり絵)・日替わりレク(頭、体を使ったゲーム)		
9月	創作活動(塗り絵綴込み)・学習教室・敬老週間		
10月	選択レクリエーション・体育週間(ミニ運動会)・カラオケ		
11月	地域探訪(島津邸菊花展)・趣味活動・日替わりレク		
12月	創作活動(西の色紙)・趣味活動・忘年会・茶話会		
1月	初詣・趣味活動(書初め)・新年会・日替わりレク・音楽レク・喫茶		
2月	節分・日替わりレク・創作活動(雛飾り・春の花)・茶話会		
3月	日替わりレク・雛飾り・創作活動(桜)・地域探訪(観桜会)		

横市デイサービスセンターの概要

1. 事業概要

利用者本位のサービスを基本として、高齢者の尊厳の保持に努め、在宅の虚弱老人等に入浴及び給食などの各種サービスを提供した。高齢者の自立的生活の助長、社会的及び心身の機能維持ならびに利用者家族の身体的および精神的負担の軽減を図るように

次の点に留意して事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴全般の行為についても自律を目標に支援した。

(2) 機能訓練およびレクリエーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう工夫した。内容については、団体でのレクリエーションのほか、個別に提供できる内容をスタッフ間で協議し、対応できるスペースを作り、自己選択自己決定できる環境を作った。

(3) 給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れた昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

2. 健康管理

送迎時には利用者の表情、顔色等を観察し、到着後はゆっくりとお茶を飲んでいただいた後にホール内に測定場所を固定し、到着順に足を運んでもらい看護師が健康状態の聞き取りを実施したのちに体温・血圧の測定を行った。

利用中、気分不良や体調悪化がみられた際に看護師と協議のうえ家族、ケアマネージャーに報告の適切な判断をした。

3. 地域との交流

地域のボランティアや学校・幼稚園などとの交流を重ね定期的に来所いただける環境を作り、交流を深めた。

4. 職員の資質向上

職員を研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の職員研修会を実施して職員の資質の向上に努めた。

5. 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 28 年度 年間行事実施状況

横浜市デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会 2 職員会議 職員研修 3 個別援助計画作成 4 屋内外清掃	毎 日	下肢筋力低下予防運動 通所介護計画実行記録 口腔嚥下体操 ケース会議
	5 ステップ運動 6 利用予定カレンダー作成	年 間	避難訓練(9月、3月) 嗜好調査(6月、2月)
随 時	体重測定 ボランティア受け入れ		
4月	ゲーム(時限爆弾)・音楽療法・棒体操・カレンダー作成・こいのぼり見学		
5月	ゲーム(棒たたき)・ステップ運動・あやめ見学・カレンダー作成・柔軟体操		
6月	タオル体操・カレンダー作成・七夕飾り作成・園芸教室		
7月	七夕飾り付け・ダンベル体操・買い物レク・風船バレー・カレンダー作成		
8月	ゲーム(うちわりレー)・ダンベル体操・栄養会(焼肉)・園芸工作・カレンダー作成		
9月	ステップ運動・料理教室・カレンダー作成・避暑地巡り		
10月	身体測定・ミニ運動会・ゲーム・共同作品作成(壁画)		
11月	タオル体操・頭の体操・紅葉狩り(霧島)・陶芸教室		
12月	しめ縄作成・忘年会・陶芸教室・ゲーム		
1月	新年会・福笑い・ボランティア演芸・初詣・カレンダー作成		
2月	ゲーム(鬼は外)・豆まき・買い物ゲーム・交通安全教室		
3月	棒体操・カレンダー作成・ゲーム(輪投げ)・花見(桜)		

平成28年度 事業別延 利用人員実績一覧

西岳デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	201	201	238	215	215	207	276	203	178	185	171	189	2,479	207
	1日平均利用人員	9.6	9.1	10.8	10.8	9.3	9.9	13.1	9.2	8.9	9.3	8.6	8.2		9.7
介護予防 総合事業	月間利用延人員	106	115	90	81	93	69	67	70	73	80	73	90	1,007	84
	1日平均利用人員	5.0	5.2	4.1	4.1	4.0	3.3	3.2	3.2	3.7	4.0	3.7	3.9		3.9
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	7	7	9	7	6	8	13	14	11	7	8	12	109	9
	1日平均利用人員	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5		0.4
合 計	開所日数	21	22	22	20	23	21	21	22	20	20	20	23	255	21
	職員体制	7	7	6	7	7	6	7	7	7	7	7	7		7
	月間利用者総数	314	323	337	303	314	284	356	287	262	272	252	291	3,595	300
	1日平均利用人員	15.0	14.7	15.3	15.2	13.7	13.5	17.0	13.0	13.1	13.6	12.6	12.7		14.1

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	354	366	370	336	400	338	333	358	315	305	334	351	4,160	347
	1日平均利用人員	16.9	16.6	16.8	16.8	17.4	15.4	15.9	16.3	15.8	15.3	16.7	15.3		16.2
介護予防 通所事業	月間利用延人員	54	63	65	64	61	53	50	57	59	65	51	60	702	59
	1日平均利用人員	2.6	2.9	3.0	3.2	2.7	2.4	2.4	2.6	3.0	3.3	2.6	2.6		2.7
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	4	5	4	4	4	3	3	4	8	6	8	8	61	5
	1日平均利用人員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3		0.2
合 計	開所日数	21	22	22	20	23	22	21	22	20	20	20	23	256	21
	職員体制	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		7
	月間利用者総数	412	434	439	404	465	394	386	419	382	376	393	419	4,923	410
	1日平均利用人員	19.6	19.7	20.0	20.2	20.2	17.9	18.4	19.0	19.1	18.8	19.7	18.2		19.2

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	250	257	247	256	267	270	270	314	298	297	296	333	3,355	280
	1日平均利用人員	11.9	11.7	11.2	12.8	11.6	12.3	12.9	14.3	14.9	14.9	14.8	14.5		13.1
介護予防 通所事業	月間利用延人員	140	136	156	131	135	109	116	97	89	87	77	91	1,364	114
	1日平均利用人員	6.7	6.2	7.1	6.6	5.9	5.0	5.5	4.4	4.5	4.4	3.9	4.0		5.3
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	33	35	34	36	38	30	32	31	24	27	32	30	382	32
	1日平均利用人員	1.6	1.6	1.5	1.8	1.7	1.4	1.5	1.4	1.2	1.4	1.6	1.3		1.5
合 計	開所日数	21	22	22	20	23	22	21	22	20	20	20	23	256	21
	職員体制	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		8
	月間利用者総数	423	428	437	423	440	409	418	442	411	411	405	454	5,101	425
	1日平均利用人員	20.1	19.5	19.9	21.2	19.1	18.6	19.9	20.1	20.6	20.6	20.3	19.7		20.0

居宅介護支援業所の概況

ケアプランサービスゆう

1 運営方針

ケアプランサービスゆうでは5名の介護支援専門を配置して、在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書(ケアプラン)を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるよう他職種 医療機関とも連携を深めることに努めました。またご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようサポート・助言を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

2 事業の概要

(1)在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

ア 自宅へ訪問し相談・助言・指導に努めました。

イ 各種サービス事業者、民生委員 ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。

ウ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。

エ 包括支援センターと連携を取り困難事例などの受け入れもできる体制を整えました。

(2)指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

ア 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。

イ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。

ウ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

(3)主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

ア 個別研修計画に沿った研修会への参加

イ 24時間連絡体制を整備

ウ 包括支援センターとの連携

エ 減算のないよう日常業務を実施

平成28年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	3	0	37	38	24	23	10	132
5月	4	0	36	40	23	24	9	132
6月	7	0	35	42	23	23	10	133
7月	5	0	40	37	23	22	8	130
8月	2	0	39	32	26	22	10	129
9月	9	3	40	32	28	23	8	131 (予防3)
10月	6	3	41	35	25	24	7	132 (予防3)
11月	7	3	40	35	23	22	9	129 (予防3)
12月	7	6	37	36	24	23	7	127 (予防6)
1月	5	5	37	38	26	22	8	131 (予防5)
2月	6	3	41	42	28	22	7	140 (予防3)
3月	10	4	41	41	28	21	7	138 (予防4)
合計	71	27	464	448	301	271	100	1,584 (予防27)

地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

1 運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、在宅医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

2 事業の概要

(1) 総合相談支援

地域に総合的かつ重層的なサービスネットワークを構築に取り組み、高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を必要なサービス利用を支援した。

(2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関との連携により、地域への啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。

(4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室の普及に努めた。

平成28年度志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター 年間相談実績（延件数）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談支援	179	162	138	148	206	204	203	200	181	221	268	213	2323
介護保険(1回目)	59	46	39	39	73	63	64	43	36	66	64	60	652
介護保険(2回目以降)	25	39	43	35	29	65	56	43	45	52	51	46	529
在宅福祉(1回目)	25	21	17	22	30	17	16	18	16	15	24	17	238
在宅福祉(2回目以降)	7	3	4	5	7	6	10	6	1	3	10	3	65
障害福祉(1回目)	2	2	2	1	5			3		2	3	1	21
障害福祉(2回目以降)	2	1						1					4
地域ふれあい会議(1回目)			1										1
地域ふれあい会議(2回目以降)													
その他	59	50	32	46	62	53	57	86	83	83	116	86	813
権利擁護業務	10	15	7	26	19	9	7	13	14	14	34	6	174
成年後見制度(1回目)	2	4	3	7	6	4	2	4	1	2	12	2	49
成年後見制度(2回目以降)								1					1
老人福祉施設(1回目)		2											2
老人福祉施設(2回目以降)		2											2
高齢者虐待(1回目)	1	3		1	2		1	1	1	1	2	2	15
高齢者虐待(2回目以降)	1			1	1				1		2		6
困難事例(1回目)	4	1		6	4	4	3	4	4	9	13	2	54
困難事例(2回目以降)	2	1		2	6	1	1	3	6	2	4		28
消費者被害									1				1
消費者被害(2回目以降)													
その他		2	4	9							1		16
包括的・継続的マネジメント業務	12	13	7	12	11	16	17	13	17	17	13	20	168
個別指導相談(1回目)	11	11	7	9	8	12	11	7	12	13	8	16	125
個別指導相談(2回目以降)						1		2				2	5
支援困難事例(1回目)	1	2			1	3	4	2	3	3	4	2	25
支援困難事例(2回目以降)							1	2	1		1		5
その他				3	2		1		1	1			8
介護保険申請	43	39	31	39	47	30	31	29	29	23	34	23	398
介護保険認定申請	33	31	22	31	38	17	20	17	17	15	25	14	280
基本チェックリスト申請			1		1	1	3	1	1		5	2	15
住宅改修	7	5	7	7	8	9	7	9	7	6	3	7	82
福祉用具購入	3	3	1	1		3	1	2	4	2	1		21

福祉サービス（申請時のみ）	17	12	14	5	17	24	9	12	7	11	17	11	156
軽度生活援助	1	1									1		3
元気アップデイ（申請）	3	1		1	2		1	1					9
元気アップデイ（モニタリング）	6	2	1		3	2	1		2	2	3		22
介護用品給付													
食の自立支援（申請）	4	1	2		2	2	3	1	2		3	1	21
食の自立支援（モニタリング）	3	2	8	1	2	9		9	3	4	5	5	51
緊急通報器具					3	3	1	1		3	1	2	14
福祉電話													
特定高齢者住宅改修		1	3	3	5	4				2	4	2	24
寝具等洗濯乾燥消毒		2											2
福祉施設入所		2				2	3						7
障害者関係													
その他						2						1	3
保健医療	1	4	2	3	5	3	0	0	0	4	2	1	25
公的保険					1	1							2
入院	1	2	2	2	3	2				1	1		14
医療関係		2		1						2	1	1	7
その他					1					1			2
介護予防	25	19	16	33	18	11	16	13	15	12	12	16	206
通所型介護予防事業	25	19	16	33	18	11	16	13	15	12	12	16	206
訪問型介護予防事業													
地域ケア会議	4	6	24	17	22	17	17	18	26	16	20	19	206
地域課題の把握及び共有化	4	2	8	3	8	4	4	2	9	7	6	8	65
社会資源集約・活用・開発		1	3	2	5	3	4	4	4	2	3	4	35
支援が必要な高齢者の支援		1	7	3	5	2	1	3	4		2		28
自立支援ケアマネジメントの支援					2	3	2	1	2	3	1	2	16
その他		2	6	9	2	5	6	8	7	4	8	5	62
認知症高齢者の支援	16	25	31	28	27	19	20	27	27	31	16	23	290
総合相談	15	20	28	27	26	16	19	25	24	23	14	21	258
権利擁護	1	4	3							1			9
包括的・継続的マネジメント等				1	1	1	1		1	3			8
その他		1				2		2	2	4	2	2	15
合計	307	295	270	311	372	333	320	325	316	349	416	332	3946